

CHITOSE CENTRAL ROTARY CLUB

Passion & Green & Action. 2007-2008



発行 千歳セントラルロータリークラブ

会長 入口博美 / 副会長 白木松敏 / 幹事 佐々木俊英 / 会報編集責任者 武田伸也

〒066-8520 北海道千歳市本町4丁目4 ホテル日航千歳 1F TEL・FAX.0123-26-5788

オフィシャルホームページ <http://ccrc.jp> E-mail. ccrc@f3.dion.ne.jp

訃報

会員 深見 浩 殿には、4月5日急逝されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

会長挨拶

まず、皆様には5日急逝されました深見会員の葬儀には、心からのお悔やみを頂きましたこと厚く御礼を申し上げます。ご遺族の方からも厚く御礼を頂きましたことご報告申し上げます。

故深見会員へは各々思い出が蘇ってくるものがあります。告別式の中で我クラブを代表して高塚パスト会長に弔辞を述べていただきましたが、とても存在感があり実行力のある方と高く評価されておりました。いずれにしてもこれからのクラブを担う会員が他界されたこと非常に残念でなりません。

一人の友人を失うことが如何に寂しいものか、一人の友人の大切さを痛感した次第であります。

私は、ロータリークラブに入ってたくさんの友人と出会うことが出来ました。故深見会員との出会いもロータリーであります。皆様もクラブに入って何人の方と出会うことが出来たでしょうか。入会したらこそその仲間の存在を感じ合えます。

ロータリーは4大奉仕という崇高な理念があります。その奉仕を達成するには、まず仲間意識がなくてはなりません。会員相互間の融和が成されていなければなりません。そこから楽しいクラブライフがあったり、事業の達成が出来るものと確信しております。

故深見会員の逝去に当たり、理事会を開きまして各種につき再検討を行いますが、その節はよろしくお願い致します。

2月には、大淵会員が事故に遭われ命拾いをしました。会員の中にはも暴飲暴食、健康を無視している方もたくさんおられるように思いますが、健康には十分注意して戴けますようお願い致します。

終わりに、J8 サミットの事業に取り組んで戴いておりますが、J8 バッジをお配りしましたので、是非身に付けて、J8 事業への気持ちを高めて戴きたいと思っております。

例会出席状況 (2008年4月8日)

会員数	33名
会員出席者数	25名
欠席者数(内:無断欠席)	8(3)名
出席率(前回)	75.75(79.41)%
ゲスト・ビジター出席者数	0名
出席者数総計	25名

幹事報告

幹事 佐々木 俊英

- 深見会員の逝去に対しましてメッセージが届いておりますのでご紹介させて頂きます。
RI2660 地区 大阪北梅田 RC 会長 奥田太加幸 様
「昨年の北海道オフミの親睦ゴルフコンペでは大変にお世話になりました。謹んで深見浩様のご冥福をお祈り申し上げます。」
- RI2820 地区 水戸南 RC 山崎雄一郎 様
「昨年の、北海道オフミではお世話になりました。深見会員のご冥福を謹んでお祈りします。」
- 5月14日(水) 6クラブ親睦合同例会の案内
受付 18時 点鐘 18時30分
- 第41回全道ろうあ者夏季体育大会が6月27~29日の日程で開催されます。
- 3月27日、JCの例会に会長と出席し、他クラブの皆様と一緒に環境問題についてディスカッションして参りました。
- 4月15日は休会になり、4月27日(日)千歳 RC 創立40周年記念式典に振り替えになります。
- 4月15日午後6時から事務局にて理事会を行います。

委員会報告

武田伸也会員

4月8日に予定していましたが「日ハム観戦ツアー」を、故深見会員の告別式の翌日ということから急遽中止させて頂きました。大変、皆様にはご迷惑をお掛けし申し訳ありませんでした。ドーム観戦の中止について

クラブ運営管理委員会 IC・雑誌担当 坂井治会員

4 月は雑誌月間です。「ロータリーの友」のあゆみに米山梅吉翁、福島喜三次の紹介があります。お読み下さい。

佐々木幹事

昨日のセーフティコールにはたくさんの出席を頂き、我がクラブの帽子が目立っていました。ありがとうございます。参加者を報告致します。

入口博美会員、佐々木俊哉会員、柏田欣也会員、羽芝涼一会員、大野馮会員、和田次彦会員、松坂敏之会員、土居栄治会員、金山徹会員、坂井治会員、田口廣会員、尾本眞二会員、長手英記会員、佐々木俊英会員の 14 名でありました。

坂井治会員

アイドリンクストップ推進のため、アンケートをお願い致します。

白木松敏会員

4 月 3 日木曜日に J8 サミット市民実行委員会が開催され、井上実行委員長の代行で出席してまいりました。

結論から申します。先日クラブで協議された部分と市民実行委員会の内容はほとんど同じです。まちフォトのはがきを、日本タオルを添えてお渡ししたいという件につきましても「是非お願いしたい」という返答を頂きました。

また、J8 参加の子供たちがコーヒーやお茶を飲む時に、紙コップなどを使ってすぐ捨てることになります。エコに関するのですが、マイカップ及びマイスプーンを持ってもらって、子供たち個々が管理するようにしたらどうでしょうか？ カップとスプーンのプレゼントをセントラル RC にお願ひ出来れば…、という強い要望がありましたことをお知らせ致します。

ニコニコ BOX

- 入口博美会員 この度の深見会員の葬儀では、皆様のご協力を得られ大変感謝しています。本当にありがとうございます！
- 須藤文会員 娘が中学生になりました。どうしても深見さんのことになりましたが、「これからは健康を考えて飲んだほうがイイヨ！」と深見さんが草葉の陰からきつと言っていると思います。皆さん、深酒にはご注意ください！
- 今井章夫会員 人間ドックに行ってきました。体調万全です。
- 武田伸也会員 深見とは同期生でありまして、JC 以来の深い付き合いでありました。私が当クラブ入会するにあたり、最終的には深見に「セントラルはいいよ～！」と、例の口調で言われたことが、入会書にサインした決定打であります。本当に残念ですけれど、仕方のないこと、寿命であったのかと思うしかありません。これからは、同期、及び同年代の者が、深見の分もしっかり頑張ってやっていこうと思っております。
- 加藤正志会員 私は深見先輩の紹介で、スポンサーになっていただき入会しました。本当に残念でいたし方ありません。

- 坂井治会員 会長より J8 のバッチいただきました。ありがとうございます！

本日のプログラム

ロータリー財団委員会 友好クラブ担当 竹原 孝会員

長泉 RC と友好を深めて 10 年余りになり、深いお付き合いを重ね、楽しい思い出がたくさんあります。世代の移り変わりなどもありまして、現在はそれを引き継ぐもの(私を含む)に元気がなく、今回も担当しながら何も活動がなく、先輩にお任せして寄りすがっているという状況であります。せっかく先輩の方々が築いたものを消してしまっただけは悲しい部分がありますので、これからどうしていくのか？ということ、一番先頭に立ってご尽力いただきました高塚パスト会長にご指導いただきたく思います。よろしくお願ひいたします。

高塚 信和会員

「友好の歴史と展望」

J8 サミットアイドリンクストップ運動として我会社の営業車 50 台につける啓蒙運動のステッカーです。カラーで作成しましたのでご覧ください。

「奨学生支え 40 年」ということで、長泉 RC では長泉の工場に勤務するタイ人研修生と地元住民との交流ということでやっております。日本東癌センターの花壇の作業と一緒にやっていくということで、25 周年の事業にしたいと話しておられます。又、道路拡張により旧米山記念館の横の工事が始まり、すでに長手門が撤去され、いずれ梅吉翁の墓を移動するというお話もあります。新記念館は旧記念館の裏手に入って 3 階建てになっており規模も大きく屋上もあります。ここに東京クラブと千歳セントラルが植樹しております。「奨学生の支え」は静岡新聞に掲載されたもので、千歳セントラルのように活動を 広報活動をつづけていきたいといういろいろ考えておられます。

さて本題に入ります。友好クラブの歴史をお話いたします。我がクラブは 90 年 11 月に創立でした。そのころです。NHK で『米山梅吉物語』をやっていました。それをダビングし、持ち込み鑑賞。そんなことから理事の中で「第 1 回米山梅吉記念館訪問の旅」を企画するに至りました。パスト会長の石垣さんが当時幹事をやっていたときです。レンタカーで、翁の墓参をさせていただき、その後皆さんと伊豆を周ったことが思い出されます。土居会員、羽芝会員と私の 3 人で続けて 3 ヶ年訪問をやり、「記念に植樹をしたい」ということをお話しました。5 年目になりましたが長泉 RC の各氏のご好意により、梅吉翁は梅が好きであったということから正面玄関の横に梅の木が植えられました。東京クラブはすでに植樹を終えておりまして、その東京クラブ植樹の前に我がクラブの梅がドンと構え、石で造った台座のもとに私の書いた文字がプレートになってございます。全国のロータリアンが見学されますと、いったい「千歳セントラルとはどんなクラブなのだろう？」と。まだご覧になっていない方は是非、秋に企画される訪問でご覧ください

い。このすごさはどこへ行っても自慢できる一つになっていると思います。

5年目の訪問、4代目山口武雄会長の時には米山梅吉記念館開館25周年記念式典があり、20人くらいで訪問しました。三島グランドホテルにての懇親会で我々は「トウヨウギンジョウ」を練習して歌ったのです。その席上で我がクラブ山口会長から新館設立記念にと100万円の寄付をさせていただきました。その後東京クラブは1500万円の寄付をし、全国のロータリアンからも寄付を募ってあの新記念館が出来ると至りました。その後1996年～97年大井会長のときに友好締結、そして昨年は友好締結10周年を迎えたわけです。13代目の大野会長のときには国際貢献 世界社会奉仕(WCS)ということでタイ・コンケン市との提携事業でクラブからは3名(長泉RC 12名参加)で現地を訪問してまいりました。友好締結してから6年になり、「両クラブで青少年に対して何か出来ることはないか」と模索し、このプロジェクトを見つけた次第です。タイのほぼ中央にあるコンケン市、この町に「ボーイズタウン」があり、Dr.ハナクル氏が私財を投じて身寄りのない貧しい子どもたちを預かり、15年位前から無給で世話をしているのです。この施設には50名ほどの子どもたちがおり、自給自足で農作物を栽培、池を造り、魚を飼ったりしながら勉強をしています。勉強する施設がないことから、牛舎、鶏舎などのリフォームを行うための支援事業でした。このプロジェクトを行うに当たっては両友好クラブがお金だけを出すのではなく、物を残したほうが有意義であるとの考え方を選びました。これは「両クラブの友好関係によって完成されたものである」といえると思います。そのような流れの中で培われた歴史というのはいろんな重みがあるものです。お互いに勉強を重ね無理のない交流を深めたいものです。

—— その後、裁判員制度、及び平成20年度からスタートした後期高齢者医療制度などについての話して頂きました。ありがとうございました。(竹原 孝会員)